

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	臨床演習・実習	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	通年
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	45時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	特に使用しないが、はり実技、灸実技、診察学応用などで使用した資料など、必要と思われるものを適宜準備する。				
担当教員情報					
担当教員	山下俊樹、宇南山伸、宮本陽平、大下裕之奥山夕記子、安齋勉		実務経験の有無・職種	有・鍼灸師	
学習目的					
3年間で学習した知識や習得した実技能力を使い、病態把握から治療、生活指導までを総合的に診られる様になることを目的とした授業である。また医療人として必要な言葉使いや身なり、そして心構えなど、患者を施術するうえで技術能力以外の重要な部分も身につけることも目的である。					
到達目標					
臨床演習・実習では、的確な問診や検査を行い正しく患者の病態把握が出来るようになる事。それをもとに適切な治療方針を立てられる事。そしてそれに対して正確な治療が出来る事を到達目標とする。また治療後の経過に対応し柔軟な治療計画の変更が出来るようになることも重要である。					
教育方法等					
授業概要	臨床実習の趣旨を理解し、協力の同意を得られた愁訴のある患者に対し、3～4人が1グループとなり片柳学園付属鍼灸院にて一人の患者に対し計7回の施術を行う。施術終了後はカンファレンスを行い、実習内容の振り返りと次回の施術に向けた施術計画を立てる。そして7回の施術終了後には一連の施術内容をまとめ症例検討会を実施し症例報告を行う。				
注意点	授業日数の4分の3以上の出席は必須である。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示がある場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	50%	実習課題への取り組みを総合的に評価する		
	レポート	20%	振り返りのレポートを評価する		
	参加態度	30%	研修への参加態度を評価する		
授業計画（1回～12回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション		臨床演習・実習の目的の確認や実習の流れを理解する。また付属鍼灸院の使い方などを修得する。		
2回	第1回施術とカンファレンス		問診や検査などから病態を把握し適切な鍼灸治療が行える。		
3回	第2回施術とカンファレンス		問診や検査などから病態を把握し適切な鍼灸治療が行える。		
4回	第3回施術とカンファレンス		問診や検査などから病態を把握し適切な鍼灸治療が行える。		
5回	第4回施術とカンファレンス		問診や検査などから病態を把握し適切な鍼灸治療が行える。		
6回	第5回施術とカンファレンス		問診や検査などから病態を把握し適切な鍼灸治療が行える。		
7回	第6回施術とカンファレンス		問診や検査などから病態を把握し適切な鍼灸治療が行える。		
8回	第7回施術とカンファレンス		問診や検査などから病態を把握し適切な鍼灸治療が行える。		
9回	全施術のまとめ		計7回の治療内容を整理する。		
10回	症例報告資料の作成①		症例をパワーポイントにまとめる。		
11回	症例報告資料の作成②		症例をパワーポイントにまとめる。		
12回	症例検討会		症例検討会にて症例を報告する。		